



平成30年2月13日
～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

公共交通活性化に向けた商業施設連携による利用促進実験について

沖縄県内の陸上交通は自家用車等の自動車交通に依存しており、市街地では慢性化している交通渋滞等が問題となっております。今般沖縄総合事務局では、商業施設と連携し公共交通利用者に対するメリットを創出することで公共交通の利用促進、移動手段の分散化による交通渋滞の緩和に向けた利用促進実験を実施いたします。

【商業施設における特典・サービスによる公共交通利用促進実験】

以下取組みを、商業施設と連携し実施予定です。

路線バス・ゆいレールの公共交通機関利用者に対して、特典・サービス(割引・1品サービス等)を実施する。

※公共交通機関利用当日のみ特典・サービス適用

【協力店舗】

・那覇市内の飲食店、書店など30店舗程度

【実施期間】

平成30年2月15日～3月23日

【添付資料】

【別紙】事業概要

【問合先】

沖縄総合事務局運輸部企画室 小柳・伊志嶺・新田・池間

TEL 098-866-0031 (内線 85240・85242・85246・85244)

FAX 098-860-2369

【受託事業者】

一般社団法人 沖縄しまたて協会

国内の主要大都市に匹敵する沖縄本島内の交通渋滞状況をふまえ、「新たな交通環境の実現」に向け地域の商業施設の皆様方にご協力頂きながら、地域社会全体として公共交通利用者に対する利点（メリット）を創出する事により、公共交通の利用促進と移動手段の分散化による交通渋滞の緩和を目指します。

OKICA♥WARI実証実験（平成30年2月15日～3月23日）

バス・モノレールで移動しながら来店されたお客様へ、各商業施設等において独自の特典・サービスを実施して頂くことで、広く公共交通を利用するメリットを創出する実証実験を実施します。

■ 特徴 ■

これまで、観光客の満足度向上や公共交通の利用促進を目的として、ゆいレールのフリー乗車券（1日・2日）を提示したお客様に対して特典・サービスを提供する取組みが行われています。

本実験は、これら特典やサービスの提供対象をIC乗車券（OKICA）で公共交通を利用している方へ拡大させることで、県民をはじめとする多くの方々にメリットを感じて頂き、全体的な利用促進を図ろうとするものです。また、自家用車などから公共交通へ転換する際の誘因や、検討のきっかけとなることも期待されます。

■ 利用者への周知活動 ■

各種メディアを用いて下記の様な周知活動を実施

- ✓ 実験チラシ・ポスターの配布（公共施設、病院、モノレール駅、協力店舗等）
- ✓ 新聞・ラジオ広告による周知
- ✓ 実験内容、商業施設や特典内容などを紹介するWEBサイトの公開
- ✓ ゆいレール・バス車内広告による周知
- ✓ 協力店舗が実施する広報（WEB・チラシ等）による周知 など

※全てのメディアよりQRコード等を用いてWEBサイトへの誘導を図る



■ 商業施設への呼びかけ ■

渋滞が激しく、お客様駐車場の整備が比較的困難な那覇市国際通り周辺の施設を重点的に呼びかけを実施

- ✓ 店舗・イベント会場周辺の渋滞対策として
- ✓ お客様用駐車場の整備や駐車料金還元・割引などと同じく顧客サービスの一環として
- ✓ 店舗の周知・広報活動の一環として

■ 提供される特典・サービスのイメージ ■

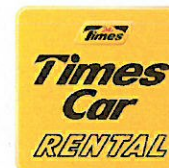
- ✓ ドリンク1杯サービス、デザート1品サービス、トッピング無料、全品半額サービス
- ✓ 商品代や入場料、利用料などの割引特典
- ✓ オリジナルグッズプレゼント など

※その他、商業施設によって追加の提供条件（〇〇円以上お買い上げ等）が設定される事があります



【協力店の目印】
ステッカー／卓上のぼり

【ご協力予定の商業施設例】



【OKICA♥WARI実験全体イメージ】



実験時の調査・検証項目

- サービス利用者数の把握
スマホアプリから送信される利用件数を基に、全体的なサービス利用状況を把握します
- 公共交通利用者数調査
実験前後の公共交通利用者数等を調査することで、利用促進効果について検証します
- 利用者満足度調査
各店舗において利用者向けのアンケート調査票（ハガキ）を配布し、満足度等について調査します
- 協力店舗調査
実験に協力頂いた各商業施設に対し、実施効果や継続ニーズ等について調査を行う事で持続可能性について検証します

※1 ICカード内の乗降履歴を確認するため、おサイフケータイ（またはNFC TypeF）に対応したAndroidスマートフォンかタブレット